

平成31年度

# 単位施策評価表

所属 19300000

生活環境部 環境課

施策	1102 循環型社会の形成							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		
対象	市民							
施策が目指す姿	環境保全に対する市民意識の醸成、日常生活におけるリサイクル活動、マイバッグ運動の推進等を図る。							
成果指標	市民一人当たりごみ収集量(1日)... 5年間で521gへ圧縮(現状値565g/日) 単位g/日 リサイクルされた資源物量...5年間で6,700tへ増加(現状値6,560t)							
目 標 達 成 状 況			平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標 1 [ ]	予定	556.00	547.00	538.00	529.00	521.00	
		実績	565.60	656.10				
	成果指標 2 [ t ]	予定	6,588.00	6,616.00	6,644.00	6,672.00	6,700.00	
		実績	6,074.56	5,773.05				
		単位コスト	99.99	106.94				
	成果指標 3 [ ]	予定						
		実績						
		単位コスト						
	成果指標 4 [ ]	予定						
		実績						
		単位コスト						
トータルコスト (千円)	予定	617,884	618,659	617,744	0	0		
	実績	607,399	617,398	617,744	0	0		
内 部 評 価	貢献度	本施策の目標を達成することにより基本施策の環境保全に取り組む市民の増加に大きく貢献すると考えられる。						
	達成状況	本施策の成果指標は災害により大量の災害ごみが発生したこと及び市民のごみ減量化が進まず、また紙類や集団回収の実績が減少したことから未達成であった。						
	課題	災害ごみの処理を適宜行うことが必要である。またごみ減量化に向けた新たな施策が必要である。						
	取組方針	ごみ減量化に関する市民意識の向上を図り、ごみと資源を分別しリサイクルを推進する事業に取り組む。						
外 部 評 価								
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度	
	151201	生ごみ減量化補助金				1,054	100	
	151301	資源物回収活動団体支援事業費				3,155	100	
	155501	ごみ収集事業費				601,998	100	
	151101	バイオ式生ごみ処理機管理費				1,038	70	
	151501	マイバッグ持参運動事業費				0	1	
	787701	あわせて100歳ヒアリング事業費					0	

# 単位施策評価表 補表

施策	1102 循環型社会の形成																																																								
区分	妥当性	妥当	循環型社会の形成についての評価は妥当である。																																																						
	コスト削減の余地	有	事業の集約や見直しなどによりコスト削減の余地がある。																																																						
	受益者負担	適正	受益者負担はないため適正である。																																																						
	上位貢献度	有効	基本施策の成果指標達成には貢献度は高い。																																																						
	類似事業の有無	無	リサイクル活動や循環型社会形成に類似事業はない																																																						
	成果向上の余地	有	今後適切に事業を行うことで、循環型社会の形成の推進が見込まれる。																																																						
内部評価	貢献度	本施策の目標を達成することにより基本施策の環境保全に取り組む市民の増加に大きく貢献すると考えられる。																																																							
	達成状況	<p>本施策の成果指標は災害により大量の災害ごみが発生したこと及び市民のごみ減量化が進まず、また紙類や集団回収の実績が減少したことから未達成であった。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="7" style="text-align: center;">① 市民一人当たりごみ収集量(1日)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">③ 災害廃棄物発生量(推計)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">年度</td> <td style="text-align: center;">H26年度</td> <td style="text-align: center;">H27年度</td> <td style="text-align: center;">H28年度</td> <td style="text-align: center;">H29年度</td> <td style="text-align: center;">H30年度</td> <td style="text-align: center;">R元年度</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">令和元年東日本台風(台風19号)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">収集量</td> <td style="text-align: center;">553.7g</td> <td style="text-align: center;">586.0g</td> <td style="text-align: center;">565.1g</td> <td style="text-align: center;">566.3g</td> <td style="text-align: center;">565.6g</td> <td style="text-align: center;">656.1g</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">46,648.58t</td> </tr> <tr> <td colspan="7" style="text-align: center;">② リサイクルされた資源物量</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">〈参考〉</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">年度</td> <td style="text-align: center;">H26年度</td> <td style="text-align: center;">H27年度</td> <td style="text-align: center;">H28年度</td> <td style="text-align: center;">H29年度</td> <td style="text-align: center;">H30年度</td> <td style="text-align: center;">R元年度</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">平成27年関東・東北豪雨災害</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">収集量</td> <td style="text-align: center;">7,031.20t</td> <td style="text-align: center;">6,679.82t</td> <td style="text-align: center;">6,428.90t</td> <td style="text-align: center;">6,208.11t</td> <td style="text-align: center;">6,074.56t</td> <td style="text-align: center;">5,773.05t</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">5,085.31t</td> </tr> </table>		① 市民一人当たりごみ収集量(1日)							③ 災害廃棄物発生量(推計)		年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	令和元年東日本台風(台風19号)		収集量	553.7g	586.0g	565.1g	566.3g	565.6g	656.1g	46,648.58t		② リサイクルされた資源物量							〈参考〉		年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	平成27年関東・東北豪雨災害		収集量	7,031.20t	6,679.82t	6,428.90t	6,208.11t	6,074.56t	5,773.05t	5,085.31t	
	① 市民一人当たりごみ収集量(1日)							③ 災害廃棄物発生量(推計)																																																	
	年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	令和元年東日本台風(台風19号)																																																	
収集量	553.7g	586.0g	565.1g	566.3g	565.6g	656.1g	46,648.58t																																																		
② リサイクルされた資源物量							〈参考〉																																																		
年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	平成27年関東・東北豪雨災害																																																		
収集量	7,031.20t	6,679.82t	6,428.90t	6,208.11t	6,074.56t	5,773.05t	5,085.31t																																																		
課題	災害ごみの処理を適宜行うことが必要である。またごみ減量化に向けた新たな施策が必要である。																																																								
取組方針	ごみ減量化に関する市民意識の向上を図り、ごみと資源を分別しリサイクルを推進する事業に取り組む。																																																								